

里地区コミュニティ協だより

里地区
コミュニティ協議会
事務局 3-2958

上甕島の診療所再編方針の概要

今年、二月二十一日（月）薩摩川内市は、甕島の診療所再編方針を策定し、発表しました。

これまで、上甕島には、四診療所がありました。常勤医のいる（上甕診療所・里診療所）その他に、上甕平良出張診療所・上甕浦内出張診療所）です。

医療従事者の不足と高齢化解消のための医療体制の整備や、施設の老朽化による整備。人口減少で、受診者数も減少傾向が続いているため、診療所の再編方針を計画するということのようにです。

令和8年4月を目標に、上甕診療所に、里診療所及び鹿島診療所を集約し、里・鹿島の診療所は、出張診療所に。現在の平良・浦内出張診療所は、令和4年度中に廃止になる予定。上甕島の診療所を中心に、上甕診療所



には、人口透析治療に必要な診療スペースや専門スタッフの確保を検討しており、それが大きな課題になっていくとのことです。将来のビジョンについては、複数の診療科目がある総合的な診療所なども視野に、検討を進めるといふ方針でした。

愛の支援 わたしたちの島でも

里町から中甕にむかう県道348号線（桑之浦・里港線）に、左写真の通り、サイレージ袋が並んでたっています。連日テレビなどで報道されるロシアのウクライナ侵攻のニュースに、じつとしていいることができなかつた里の住民の、ウクライナ支援を訴えたサイレージ袋です。

遙かな国で起きたニュースも、こうして、わたしたちの心に他人事ではない思いを抱かせます。世界が身近な時代になりました。世界には様々な人が生きていて、様々な価値観や意見があり、様々な生活をしています。お互いを尊重して暮らさないと、災害にも対応できません。

「助けあう心」は、大事な地域課題ですが、世界の課題でもあります。車で、道路を走りながら、観光客がスマホをかざしこのサイレージの写真を撮る姿を見かけました。

里の住民として、誇らしい気持ちと共感が湧き胸が熱くなりました。



ウクライナ大使館・口座

三菱UFJ銀行
広尾支店
普通0972597
エンバシーオブウクライナ